夕刊
常磐毎日

発行所
平市田町97番
常磐毎日新聞社
電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

看板 図案
サカイ
平市本町

常磐線の電化問題
來年度の着工は困難視
早くとも三十年度以降に持越さる

常磐線電化促進問題は、去る二十二年十二月十七日常磐地区挙げて期成同盟会を結成、知事を会長に猛運動を展開しているが、国鉄当局の予算削減から予定された来年度着工は困難視され、早くとも三十年度以降に持ち越し説が強まり、注目されている

工費百十三億圓
五ケ年継続の大工事

国鉄当局では同線が輸送量の多い割に施設が少く、石炭の節約量も大きいので、電化五ケ年計画で同線を取り上げ二十九年度着手を予定していたものだが、電化予算が大きく削減されてしまつたので、新規事業に手が出なくなつたと言うもので当局で進められている常磐線電化工事計画によると◇第一年度上野－水戸間三十億円、第二年度水戸－平間四十億円、第三年度平－仙台間四十三億円で総工費百十三億円の大計画が作られ、更にこの着工については、現在具体的な調査が進められ、近くその結論も出されることになつている

内郷地区署
交通安全旬間

春季交通安全旬間に内郷地区署では次の行事を行う

▽十五日交通模範地区の設置、横断幕の掲揚（三ケ所）、対面交通指導（十日間）、講演交通施設実態調査 交通関係従業員懇談会（二時から地区署会議室）

▽十六日講演、街頭指導

▽十七日街頭指導（BS隊）

▽十八日講演、一斉取締り街頭指導

▽十九日講演、交通関係従業員懇談会、街頭指導

▽二十日講演、街頭車輌検査、街頭指導

▽二十一日講演、街頭指導

▽二十二日街頭指導

▽二十三日一せい取締り

▽二十四日ポスター、作文の審査会、弁論大会（午後一時から内郷高校体育館）、ポスター作文、弁論大会の優秀者表彰式、反省会（午後五時地区署会議室）

なおボーイスカウト隊員、町内小中校児童生徒の街頭指導による交通違反者に対し警告書を手交し、交通道徳観念昂揚にまん全を期することになる

湯本三小 建築協議會
幼稚園も併設か（十六日）

湯本教育委員会では十二日午後一時から同町公民館で開き、湯本三小建築問題で協議した結果、十六日午前九時から学校建築委、教委の合同会議を開いて細部を検討し予算その他を決定することになつた

更にこの学校をモデルスクールにするため、東京都内のモデルスクールを視察することになり期日は未定、また、同校に併設して幼稚園を建設することになり、予算二百六十万円を計上し建坪三十坪の近代的完備した幼稚園を建設するため敷地の視察を行うことになつた

専売公社落成式
公会堂で盛大に行ふ（十五日）
優良耕作者百余名表彰

日本専売公社平出張所庁舎落成式は五月十五日午前十時から関係者約九百名が平市公会堂に参席して盛大に催されるが、席上優良耕作者、改良団、婦人団、耕作功労者の表彰を行う

受賞者は次の通り

▽日本専売公社総裁賞金成浅治（好間村）

▽功労者、本馬武（高久）内田節太郎（平市）

▽婦人団体賞、鹿島村久保たばこ耕作婦人団、沢渡村下市かやたばこ耕作婦人団、田人村黒田第一たばこ耕作婦人団

▽改良団体賞（いずれもたばこ耕作改良団体）一等上遠野村根岸上組、二等田人村入旅人、田人村宝坂、永戸村渡戸第一、草野村絹谷、三等高久村上山口、磐崎村馬玉、鹿島村蔵持、勿来町窪田第一、箕輪村高野第一、赤井村高萩、入遠野村入平第二

▽二十七年度たばこ耕作受賞者一等、鈴木正一（高久）高木秀久（磐崎）二等入平薫（赤井）円道伝費（入遠野）吉田嘉宣（草野）石森貴輝（上遠野）緑川留（田人）波立利勝（鹿島）渡辺常雄（鹿島）遠野政之（上遠野）小野清美（田人） 吉田利一（下小川）三等大律久吉（植田）高木彌太郎（磐崎）島水みの松（上遠野）萩野理良（赤井）中野虎雄（鹿島）須藤保男（四倉）島内由貝（箕輪）箱根清（上小川）佐藤吉郎平（入遠野）島永嘉一（上遠野）根本喜衛（入遠野）吉田藤郎（大野）高木高喜（大野）平子国政（田人）水野勇輔（永戸）佐藤勝之助（山田）草野久（永戸）久保木安雄（渡辺）赤津清（勿来）鈴木親丽（泉町）鈴木新一（沢渡）

▽二十七年度松川葉特性揮発奨たばこ品評会入賞者一等高秋弘（箕輪）鈴木武八郎（磐崎）赤津清（勿来）上遠野忠夫（入遠野）田子伝吉（沢渡）吉田政慶、高秋徳（箕輪）石森茂広（上遠野）二等田子秦彌（沢渡）外二十四名三等上遠野保二（入遠野）外三十八名

石城民生常務委員会は十一日午後一時から石城地方事務所会議室で開き事務問題について打合せる

好間の強盗
容疑者検挙
犯行を否認

去る九日石城郡好間村に発生した強盗事件を捜査中の平地区署では十三日石城郡好間村無職古川一二三（二三）大内義助（三五）宮沢実雄（二三）の三名を有力容疑者として逮捕したが三名とも犯行を否認している

九日夜同村小館地内県道を通行中の同字採炭夫那須清太夫さん（三三）を暗やみに連れ込み着ていたチャンバー、腕時計を強奪したもので共犯者二名は逃走中、なお同人らは十日午前二時ころ腰板二坪を焼いた好間村上好間字下川原にある日雇夫好間労務紹介所の怪火も同人らがすてた煙草の火からとみられ追求している

草野村長選擧戰
早くも混戰を予想さる

草野村々長選挙は二十日行われるがすでに前回次点落選の折笠藤雄と浅原作衛の両氏が立候補したので早くも混戦を予想されるに至つた、同村の有権者は総数三千六名で男千四百三十四名、女千五百七十二名となつており、衆議院選挙の投票率八割二分から見ると約八割ちかくまでの投票率を示す予想で、更に噂さにのぼる人々では現村長坂本惣次郎氏があるが過般の村会解散問題が可成り影響するだろうとみられている

内郷の優良
運転者表彰

内郷地区署、県交通安全協会内郷支部では十三日午後三時から同署会議室に総会を開き、二十七年度決算報告後、二十八年度事業計画について協議した結果、道路改修の協力、交通事故標識の設置、学生通学安全隊の構成、事故防止協議会などを決定し、左記優良運転者の表彰式を行い、記念品（火鉢）を贈つた

◇水野炭砿自家用運転者酒井信吉（三二）、常磐炭砿運転者安彦巌（三三）、田中炭砿運転者大友一吉（三〇）

春季交通安全旬間
十五日から十日間実施

春季交通安全旬間は十五日から十日間全国一せいに行われるが平市署でも対面交通の指導徹底、自動車事故防止、踏切事故防止、道路各標識その他安全施設整備などに重点をおいて旬間の行事を次の通り行う、なお平市内に発生した二十七年度の管内交通事故は五十六件に上り死亡三名、重軽傷二十六名を出している、これは運転手の不注意、無免許運転、直前横断によるものがほとんどをしめている、旬間中の行事次の通り

▽十五日（旬間宣伝日）日刊新聞掲載、事故現場写真展示、ポスター立看板、街頭放送▽十六七日（街頭指導）市内小学校交通安全隊の市内行進 路上放置物件の処理、道路清掃▽二十、二十一日（座談研究会）交通関係業者並に従業員の交通事故防止懇談会▽二十二、四日街頭指導及び遵法精神昂揚、全市内交通一斉取締及び路上検査

古河炭鉱 斜坑で採炭採業中の菅野英一さん（三四）は背後からきた炭車が脱線挟まれたゝめ骨折一ケ月の重傷を負つた

線路に大石
子供の悪戯

十三日午后三時三十分ころ常磐線平駅から約千米仙台より鉄道線路に巨大の石を置いてあるのを巡回中の駅員が発見、平公安室に届出た、同室で捜査の結果平市白銀町市役所人夫本田重次さん二女葉子ちやん（三）のいたずらと判明したが、公安室では子供のいたずらとは云え、もしもの事があれば重大な事なので親を呼出し警告を発した

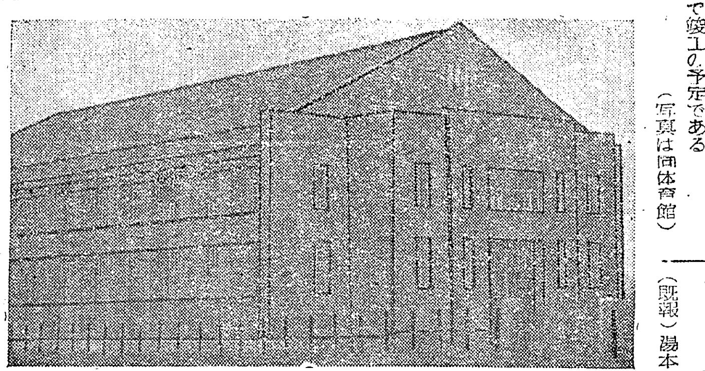
用便中化粧
道具盗まる

十三日午后七時五十五分ころから八時ころまで平駅公衆便所で用便中の内郷町大字白水入山紙箱店員石橋米子さん（一六）は便所出窓に置いた化粧道具外数点在中の黒色製ナイロン手提袋を置引きされ平鉄道公安室に届出た

内高体育館落成
廿日竣工祝賀式を挙行

内郷高校の体育館は、総工費六百七十八万円で昨年十月十日同町大字綴小野建設KKの手で工事を進められていたが、去月三十日竣工したこの程工事検査も終つたので二十日午前十時から落成式を行うこととなつた、総建坪二百二十二坪で全部耐火作りで、館内設備はバスケツト移動式ボールドを始め、鉄棒、ケ、スィ施設等一切を備えた立派なもの、尚便所等の附属建物は別棟で建てる計画で今秋頃まで竣工の予定である

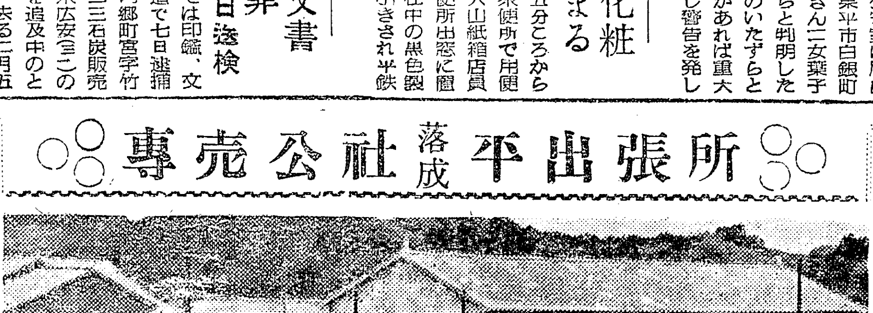
（写真は同体育館）



湯本の文書
偽造余罪
十四日送検

（既報）湯本地区署では印鑑、文書偽造で七日逮捕した内郷町宮字竹之内二三石炭販売業青木広安（三二）の余罪を追及中のところ、去る二月五日ごろ常磐炭砿から廃鉄二百トンの払下げ証明書を偽造し大阪府の新興株式会社稲君政氏に対し、言葉巧みに真実のようにみせかせ現金百万円を詐欺したほか数件の余罪が発覚印鑑、文書偽造、詐欺罪で十四日平地検に身柄送検した

昭和28年 ○○ 専売公社落成平出張所 ○○ 5月15日



平管内たばこ耕作組合連合会
会長 金成浅治

庁社建設施工者
株式会社 磐城土建
社長 強口唯七郎
専務 強口金士郎
電五九、二八二、一、〇三四

所長 本多貢
経理課長 高羽孝雄
販売課長 坂内慶藏
生産課長 国分誠次
監視課長 滝田甚右衛門
外職員一同

平塩販売組合 所長 白土正藏
小名浜塩販売組合 御代定吉
四ツ倉塩販売組合 菅波康之助
植田塩販売組合 山口近之助
平塩業合名会社 社長 百沢易興

耕地整理施工者
加地和組
代表 川和徳一
電話九七〇番

平管内たばこ販売協同組合
理事長 堀喜一

遅れた「つつじ祭」ポスター
市当局の不手際を批難

つゝじの名所松ケ岡公園を有しながら、つゝじの花が終りに近いころになつてあわてゝ「つゝじ祭り」のポスターを印刷して十一日にやつと各地に発送したという市当局の不手際が非難されて

花の咲く前から宣伝に乗り出すのならともかく、早咲の花が散り初めたところにあわてゝ宣伝しても、宣伝が浸透するまでには、かんじんの花が散つてしまう、金が有り余つて使どころがないのなら仕方がないが、赤字財政の一端を削つてやつている仕事なら血税を納入している市民のためにも最善の努力こそ望ましいと言うもの

（写真はそのポスター）

準備がおくれた
関場市商工課長は談る

今年は公園のつゝじも相当荒れていたので、大きく宣伝する計画はなかつたが、桜の不景気からつゝじを期待する業者の声が高かつたので、遅くなつてから初めたことが原因している、とにかくおくれてしまつたことは申訳ない

佐藤部長談

事情を良く聴いていないので解らないが、咲く前に宣伝するのが本当で、少しおそくなつたようだ、市民の批判に応えて努力する

鯨岡商工課主任談

四月末に宣伝に着手、ポスターもその頃発送すべきだつた。ポスター印刷がおくれたことも原因の一つではあるが桜の次はつゝじであることは初めから解つていることであり、この点おくれたことは甚だ如何であつた、効果が少いことは事実である、私達の移動などで、この点おろそかになつていたものでせう、市民には済まないと思つている

磐崎で優良母子を表彰

磐崎小校では十二日午後一時から同校P．T．A評議員会を開き、十五日催される母の日、子供の日合同行事の席上で表彰する優良母子の選定を行つた結果、次の通り決定した

▽優良母

士生都、岡部リヨ、石井愛子、吉田キヨ、山田時子、御代セイ、同マサ、鈴木イク、稲沼イサ[illegible]、箱崎よしえ、[illegible]子、高木ユキの十二名

▽優良子供

稲沼光夫、御代ヒデ、酒井ミチ子の三名

なお選定方法は優良母は母の手一つで子の教育にてい身した人を選び、優良子供は親孝行、他のも範となるものを選定した

賞品を授与する

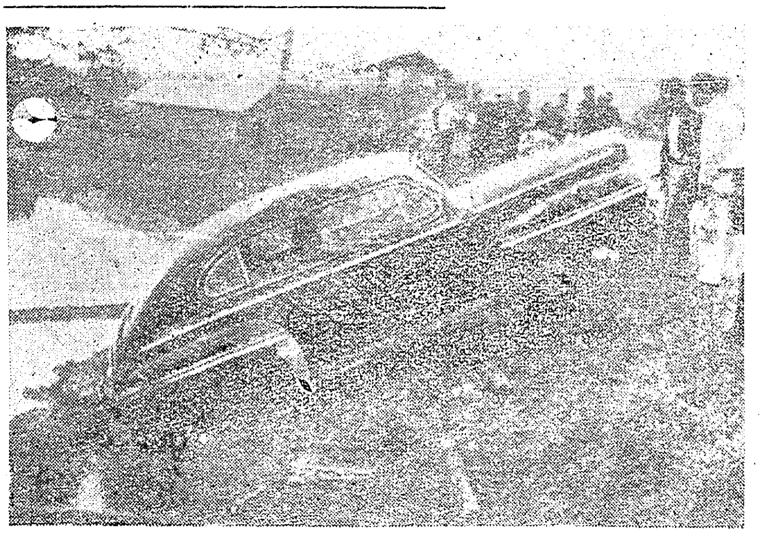
白水小校のBCG接種

県衛生指出校（衛生モデル校）として昨年四月指定された白水小校では結核予防法によるツベルクリン反応、B、C、G接種を児童六百名に対して二十五、六の両日実施する、この地帯は中小炭砿の密集住宅で衛生環境が悪く、予防対策に万全を期することになつたもの

ハイヤー小川に轉落
乗客負傷、運転手は無事

十四日午前八時五十分ころ市内下平窪字四左エ門地内路上で、平市田町平タクシー会社所有の大型ハイヤー運転手鈴木充則君(三二)がハンドルを切りそこねて四米下の小川に転落自動車を大破乗客の須賀町東町県医薬品会社員大櫛賢三(三九)さんは頭部、左腕などに全治一ケ月の打撲傷を負つた運転手は無事

運転手の話しによると子供が道端で遊んで居たのをよけようとして転落したと言われるが、四囲の状況等から余りスピードを出しすぎての事故と見られる、なお鈴木運転手は昨年も事故を起し三十五日間の停止処分を受けたことがある



（写真は転落したハイヤー）

音楽講習会

平小、中校長会、石城郡校長会、県音楽教育連盟石城、平地区主催で十六日午前九時から平一中校講堂で音楽講習会を開く、課題は歌唱と創作

講師は文部省視学官諸井三郎、東京芸術大学教授近藤梅子、作曲家市川都志春となつている

図画研究会
平一中（十六日）

平小、中校長会、石城教員美術研究会主催、桜商会後援で十六日午後一時三十分から平一中校に伊藤傅三画伯を講師として招き、郡下各学校の図画工作係教官百余名が集つて図画研究会（人物写生会）を開き、十七日午前九時から学童の写生展覧会を開く、なお審査員は伊藤画伯で優秀作品には賞状、

歸還第三次
郡関係は二名

第三次白山丸帰還者石城関係者は十五日午后五時十八分常磐線平駅着で帰つて来る、こんどの帰還者は内郷町高木友雄さん、磐崎村の矢口一雄さん(三五)の両名である

宮保育所の増築工事

内郷町では町立保育所要措置児童が激増したので、町民から各保育所の増築工事が要望され、特に入園児希望が多かつた宮保育所増築工事を約十八万円の予算で十二坪を増築し附帯工事として手洗場も新設することになり、着工を待たれている

なおこの保育所は現在七十六名の園児が収容されているが、増築工事が完成されれば九十名の園児が収容される事になる

平市衛生課では次の日割で狂犬病予防接種を実施する、なお時間は午前十時から午后三時まで

▽十五日第六小学校（神谷地区）
▽十六、七日公会堂、（旧市内）
▽十九日飯野支所（飯野地区）
▽二十日第四小学校（平窪地区）

市内にもある非道家主
便所を取壊して嫌がらせ

（昨報）内郷町に発生した、悪徳家主の目に余る非道は、家主をたてに法律を無視した蛮行であり、許せない社会問題であるとして、多くの非難と同情を集めているが、是にこれに似た問題が平市と内郷町に二件発生これまた注目を集めている

家宅侵入で告訴
民事抗争中の出來事

平市の問題は平市月見町建具師矢沢里治さんの借屋で、矢沢さんは現在居住している家を鹿島村の金成氏から借り受けて居住していたものだが、このほど市内新川町下駄商野沢克己氏がこの家屋を買受け、明渡し要求となり現在地裁平支部で抗争中のところ去る九日野沢氏は警察の制止も聞かず勝手に矢沢さん宅の便所を取りこわしてしまつたもの、矢沢さん方では明かに暴力行為で私達の追出しを策しているものだと、十一日平市署に家主相手に告訴紛争している

泥酔の家主
住居侵入罪で内郷署に逮捕

また内郷町では借家人、家主との間で、借家契約問題から端を発し昨年来から折合いがつかず、家主である内郷町宮字金坂五九古物商村山勇(五二)が十二日午前七時三十分ころ飲酒めいていの上、「今日こそ出してやる」と借家人の無職遠藤フジイさん(四二)宅に侵入、遠藤さんの家財道具を手当り次第ほうり投げて暴れ、住居侵入現行犯で内郷地区署に逮捕取調べ中である

磐城光畫会 主催、平写真材料商組合後援の第二回写真教室は十七日午后二時、六時の二回中央通り田中カメラ店新設現像場で開かれる、会費は無料で当日出席者には新製品引伸用焼付用シーガル印画紙を進呈する

養老園に美挙

「青春を捨てた信仰の乙女から 真心こもつた贈物」

身体の障害が生んだ青春期の苦悩を信仰生活の中に求めて、雄々しくも死境を乗り越えて生きる、うら若き女性の美しい行為が平市の福祉事務所の一係員から齎らされ明治の歌人晶子女史が愛人与謝野鉄幹に贈つた名歌「やわはだの熱き血潮にふれもみて、さびしからずや道を説く君」の歌の心境と相似た心情であろうと、聞く人をして多くの感銘を呼んでいる

苦悩を越えて
強く信仰に生きる彼女

話題の主は市内松尾産婦人科院長宅の女中さんとして働いている、好間村推木平菊地秀子(二七)さんで、菊地さんは幼少から身体の障害に侵かされ、女性としての生涯を捨てねばならぬ境遇へ追込まれ、相談相手もないまゝ、死の苦悩を続けて来たが、市署会田婦警らの励しで信仰生活に生きる道を発見、見事死境を乗り越えた強い信念の持ち主で、その後会田婦警や教会の牧師さんらの世話で現在の職につき、多忙な日常のかたわら専ら信仰生活に生き抜いているものだが、この恵まれぬ生活の中から僅かな小使をさいて十三日会田婦警を通じて平市養老院に金一封を寄贈、その美しい行為は、静かに余生を送る老人達初め、福祉事務所係員らを感激させている

千葉平福祉事務所長談

「全く感激のほかありません、心から感謝しております」と語り

平老養院長談

「菊地さんの事情を聞いて泣かされました、千万の贈りものより尊いものです、新聞紙面に取り上げて是非皆さんにも知らせて戴きたいと思います」と語つていた

果物
ナカヲカ
平市南町電六九四

産婦人科
平市向鎌田
松本医院

タクシーは
平市1丁目
電685番
三井へ

写真に勝る
肖像画
菊水画房

平 名物 やぶ[illegible] むすびでござる

石松もよくしつていた
寿司の味
[illegible]寿し

祝ボーイスカウト週間
週間行事
十六日午後六時
講演と當火の夕べ
十七日午前八時
町内日の丸行進
主催 ボーイスカウト内郷町連絡協議会
後援 内郷町公民館

片濱まわり五〇キロ素人実用自転車競走
一家に一台 国民の足 全国自転車祭
懸賞付自転車普及運動賣出し
賞金 特賞 五十万円 一等 十万円
抽せん日 七月一日（二十一万台）
日時 五月二十日 午後一時発走
通過道順 平市三十米道路 発点―綴―湯本―小名浜―江名―豊間―高久―夏井―草野―神谷―平出発点（決勝点）（途中通過証明書五ケ所）
参加の資格 平市及石城郡在中十八才の男女（但し競輪選手志望練習中の者不可）
参加自転車普通実用車（但軽快車及八分の三リームタイヤ以下の車は認めない）
参加の服装競走に適応せるもの
賞金◎一着壱万円◎二着五千円◎三着二千円◎四着壱千円◎五着五百円◎六着参百円
（着外者に参加賞洩れなく進呈）
申込日 五月十七日限り
申込所 参加連盟自転車店
所要時間予想投票
問題 片浜廻り五〇キロ素人実用車競走し一着者の所要時間は何時間何分か？
懸賞募集
用紙 官製ハガキ（回答住所氏名明記の事）一人一答
あて名 平市役所競輪課内懸賞係宛
〆切 五月十九日（当日消印のあるもの有効）
抽せん 新聞社立合の上厳正抽せん（各等の及び所時間にもつとも近き者の二名以上の時）
賞金 一等三千円 二等二千円 三等千円 各一名
主催 平自転車商組合
後援 平市競輪課 福島県自転車振興会

傳統と技術とサービスの店
おなじみ深い最中のマスコット
一口最中
三色の色調と三色の風味
三色最中
平市銀座街 電二〇六
御菓子司
松月堂